

環境経営レポート

2024年度

(対象期間:2024年4月～2025年3月)



株式会社 新芝製作所

発行 2025年5月2日

認証・登録年月日 2012年6月19日

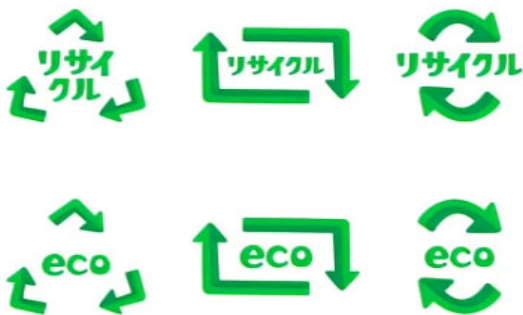
認証・登録番号 0008408



認証番号0008408

目次

目次	P-2
ご挨拶 環境理念 環境方針	P-3
事業活動の規模	P-4
EA21推進体制及び役割	P-5
環境目標とその実績	P-6
環境活動の取組みと評価	P-7、8
活動全体の評価	P-9
環境関連法規制の遵守状況	P-9



○ご挨拶○

弊社は昭和25年操業開始以来、様々な仕事に取り組んでまいりました。現在は、溶接・プレス曲げ加工・切断・ネジ転造・メッキなど、金属のあらゆる加工をしております。その際に発生する環境影響を少しでも軽減しようと考え、エコアクション21認証取得活動を機に持続可能な社会の実現に向けて、微力ではありますが社員一丸となり取り組んでまいります。

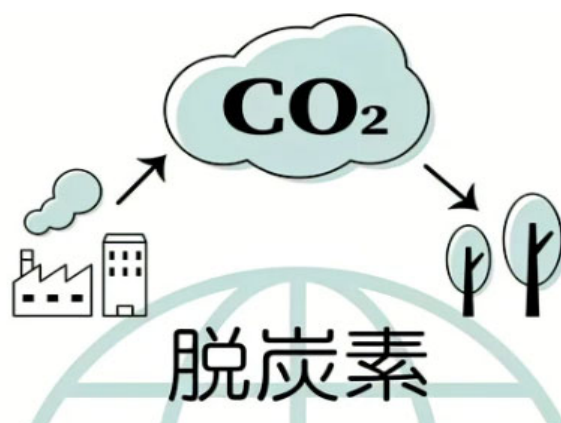
○環境理念○

株式会社新芝製作所は、金属加工の際に与える環境影響を考慮し、地球環境の保全と、その継承の重要性を認識し、社員が一丸となって環境汚染防止、資源の有効利用に継続的に取り組み、持続可能な社会の実現にむけて貢献できる企業を目指します。

○環境方針○

1. 事業内の効率化を図り、環境負荷の低減を目指して継続的な改善に努めます。
2. 省エネ、節水に取り組むとともに、グリーン購入や廃棄物の発生抑制、適正分別に努めます。
3. 企業活動において関連法規を遵守し、騒音・排水・廃油等を適正管理し汚染の予防に努めます。
4. 環境理念・環境方針を全社員に周知し、理解と意識向上を図ります。
5. この環境方針を一般に公開するとともに、適切な情報提供に努めます。

2011年9月1日
株式会社 新芝製作所
代表取締役 新後閑 友洋



○事業活動の規模○

事業所及び代表者名

株式会社 新芝製作所
代表取締役 新後閑 友洋

所在地

本社工場 〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町1400-1
TEL 027-388-8347
FAX 027-388-8547
倉庫 〒370-0036 群馬県高崎市南大類町930

URL <http://www.shin-shiba.com>
E-mail shinshib@qj9.so-net.ne.jp

環境保全関係の責任者及び担当者

代表責任者 代表取締役社長 新後閑 友洋
環境管理責任者 新後閑 淳
工場責任者 舞木 勇司
廃棄物・リサイクル責任者 関口 賢一 ・ 安部 克英
EA21事務局 植松 史行

事業内容

金属加工全般・主に建築用部材の製造

対象範囲及びレポート対象期間

株式会社 新芝製作所 全組織を対象に、2023年4月～2024年3月までの1年間の活動。

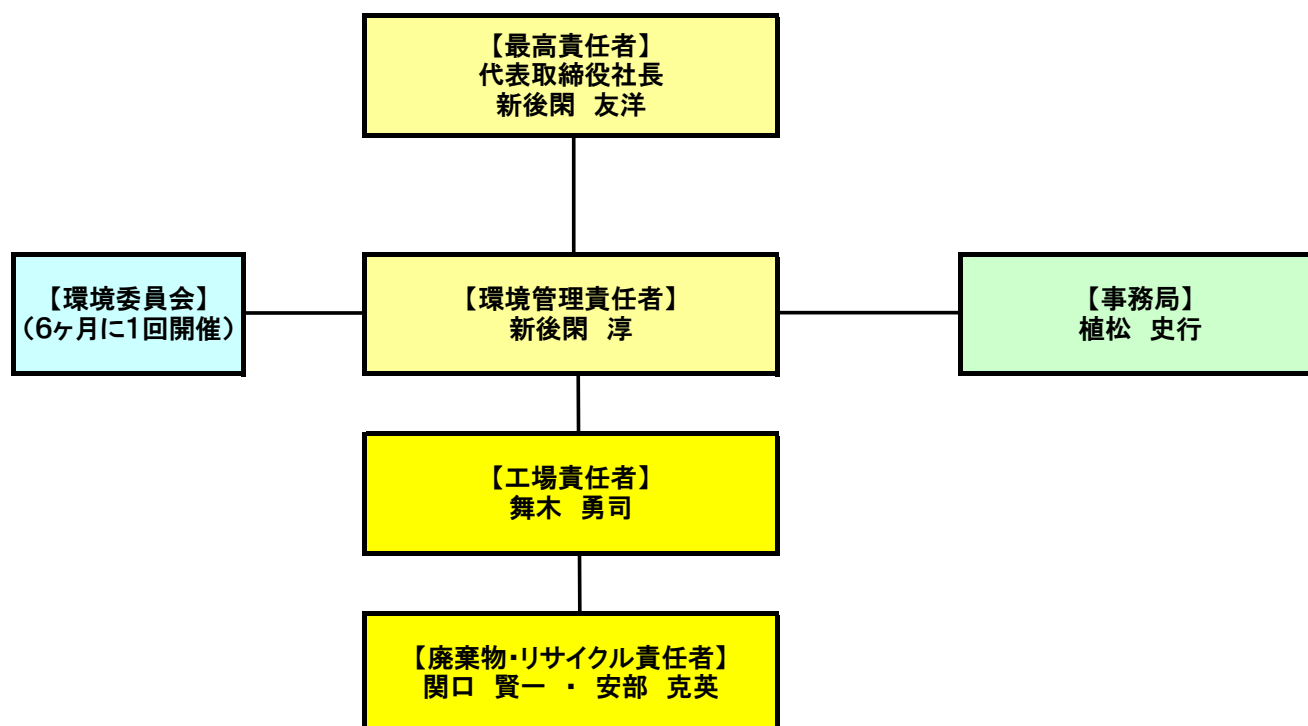
事業規模

製品出荷高 2024年度 1543t

	新工場	倉庫	合計
従業員数	33人	0人	33人
延べ床面積	1,600m ²	810m ²	2410m ²

2025年3月現在のデータです

○EA21推進体制及び役割○



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 新後閑 友洋】 ①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	【新後閑 淳】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	【植松 史行】 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
工場責任者	【舞木 勇司】 環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する工場内管理全般を所管する。
廃棄物・リサイクル責任者	【関口賢一／安部克英】 新芝製作所より排出される廃棄物やリサイクル材の適正管理。廃棄物置場の維持管理運用。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・部門長・事務局で構成し、6ヶ月に1回環境管理責任者が召集。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

○環境目標とその実績○

No.	環境目標	基準値2020年度 (2020. 4～2021. 3)	2024年度 目標値	2024年度 実績値	2025年度目 標値	5年後(2026年 度)の目標
1	二酸化炭素排出量 の削減(kg-CO ₂)	74,162 kg-CO ₂ (124.78kg-CO ₂ /百万 円)	基準値 4%削減 (71,196kg-CO ₂) (119.79kg-CO ₂ /百万円)	99,918kg-CO ₂ (91.58kg-CO ₂ /百万 円)	前年度の 実績値より1% 削減	年度毎に基準値 の1%ずつ削減 5年後に累計 5%の削減
2	一般・産業廃棄物の 削減(kg) 2021年度データを 基準値とする	46,357 kg (67.97kg/百万円)	基準値 3%削減 (44,966kg) (65.93kg /百万円)	54,540kg (49.91kg/百万 円)	前年度の 実績値より1% 削減	年度毎に基準値 の1%ずつ削減 4年後に累計 4%の削減
3	水資源投入量の削 減(m ³)	291 (0.49m ³ /百万円)	基準値 4%削減 (279m ³) (0.47m ³ /百万円)	343 (0.31m ³ /百万円)	前年度の 実績値より1% 削減	年度毎に基準値 の1%ずつ削減 5年後に累計 5%の削減
4	グリーン購入の推進	可能な限りの対応	社内ルー ルの徹底	可能な限りの 対応(5品目)	可能な限りの対応継続	
5	化学物質取扱及び 管理の徹底	—	取扱量の 把握及び 管理徹底	ローバルシル バーRSの1品 のみ:1.4kg	顧客指定のため削減目標は設 定しないが、管理を徹底する	
6	本業に関する目標	段ボールの再利用	社内ルー ルの徹底	可能な限りの 対応	廃棄物削減、経費削減の 観点より継続	
		月1回の地域清掃			環境保全、地域交流の 観点より継続	

※この表の購入電力の排出係数は、0.468kg-CO₂/kwh(2019年度)を使用しています。

○環境活動計画の取組みと評価○

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み	取組みの評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 基準値の4%削減目標 達成状況:総量× 40.3%増加 原単位○ 23.5%削減	空調温度の適正化・表示 照明・PC電源のOFF推進 ミスコピーの防止・表示 エコドライブの受講 エアコン清掃の実施(月/1回) 裏紙BOXの設置と利用推進 社有車の点検チェックシートの運用 電力・ガソリン使用量の集計 燃費計算、データの運用 コンプレッサーのエア漏れチェック	○ ○ ○ △ ○ ○ ○ ○ △ ○
・評価 各項目について概ね評価できる。 達成状況は総量では増加したが原単位では目標を達成した。 昨年度は大型物件が多数あったので稼働日が増加した。 年間運送距離は10t車を購入し、効率よくなり昨年と比較すると31%減少した。 次年度も継続して活動する。 空調温度の適正化・表示はも引き続き継続できている。 原単位での目標は達成しているので取組結果が現れている。		
・次年度の取組み 電力使用量については節電等含め、次年度も継続して活動する。 化石燃料は大型10トントラック導入したことにより次年度は輸送効率も良くなると思われるので期待したい。 今年も加工機械を増設するので毎月の電気代に着目する。		
2. 廃棄物排出量の削減 基準値の3%削減目標 2021年度排出データを 基準値として設定する。	廃棄物管理手順書を作成して運用 廃棄物置場の設置・表示 廃棄物排出量の集計 裏紙BOXの設置と利用促進 新聞紙の資源ごみへの統一 廃棄物管理責任者の選任	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
達成状況:総量× 21.3%増加 原単位○ 24.3%削減		
・評価 昨年より売上が20%増加したので総量では未達成となった。 原単位では削減できているので評価できる。 海外子会社からの商品の一部のダンボールは再利用し、出荷できているのでダンボールに限っては昨年度より16%削減できている。 さらに何をできるか検討していきたい。 木くずについて2021～2023年度は地域貢献をしたため集計できなかったが2024年度からは産廃扱いとし、集計した結果8,070kgとなった。		
・次年度の取組み 新工場になり5年目となるので廃棄物排出量のデータを基に何ができるのか再考する。 今まで通り継続して取り組む。		

- | | | |
|--------------|------------------------|---|
| 3. 水資源投入量の削減 | 使用各所への節水表示 | ○ |
| 基準値の4%削減目標 | 水道メーター確認シート(漏水チェック)の運用 | ○ |

達成状況:総量× 22.9%増加
原単位○ 34%削減

・評価

社員の意識向上により原単位では目標達成。

昨年度は組立棟のトイレの水が一定期間流れていたため増加となった。対策をし、継続して取り組む。

・次年度の取組み

引き続き節水の努力を行っていく。

- | | | |
|--------------|----------------|---|
| 4. グリーン購入の推進 | ネット通販などの活用推進 | ○ |
| 可能な範囲での推進 | 各購入者が店舗で比較検討する | ○ |

達成状況:○ 5品目

・評価

グリーン購入の意識徹底。

・次年度の取組み

次年度も継続して管理運用する。

- | | | |
|---------------------|-------------|---|
| 5. 化学物質・危険物の取扱い及び管理 | 商品一覧表の作成 | ○ |
| 管理の徹底 | 購入量の把握 | ○ |
| 購入量の把握 | SDSの入手 | ○ |
| | 緊急時の対処法及び訓練 | ○ |

・評価

各項目について概ね評価できる。新規購入検討品についてのルールも徹底されてきた。

・次年度の取組

次年度も継続して推進する。

- | | | |
|-------------|-----------------|---|
| 6. 本業に関する目標 | 不要段ボールの梱包材への再利用 | ○ |
| 可能な範囲での推進 | 月1回近隣地域の清掃活動実施 | ○ |

・評価

二酸化炭素削減に関してはある程度限界に達してるので原単位で達成することを目標に引き続き実行する。

廃棄物に関しては木くず排出が追加になったのと一昨年度より売上増と共に総体的に増加したと思われる。

電気使用量は前年対比で-4.7%となった。

・次年度の取組み

次年度は13年目に入るので新しい提案があれば実行していきたい。

廃棄物や電気代は原単位で削減できていれば良しとするも更に少しでも削減できるよう引き続き継続する。

また、昨年度出来なかった緊急事態・消防訓練を実施する。

○環境関連法規制の遵守○

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
騒音規制法	全て遵法 (2025. 4. 1 調査)
振動規制法	
浄化槽法	
廃掃法	
消防法	
フロン排出抑制法	

2. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

2025年4月の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘、処分は過去3年間ありません。

○活動全体の評価○

2023年8月に組立棟ができ、電力は前年対比で増加すると思われたが約4.7%削減した。
ベトナム工場での増産が影響し、国内工場の電力が削減できたと思われる。
化石燃料も前年対比で14.2%削減できているので非常に評価できる。
今年は昨年できなかった消防訓練を実施し、次回の更新審査に向け計画を進める。
2025年2月にSBT承認取得をしたので、さらなる社内の見える化を加速させ、CO2排出量の意識を高めたい。
引き続き全社員が意識し協力して活動できるよう環境管理責任者を中心に進めていきたい。

代表取締役 新後閑 友洋



Sustainable